Vol. 3

Fire

Rescue

All Hazard Response

Disaster Relief

JAPAN TASK FORCE

特定非営利活動法人　ジャパン・タスクフォース

〒535-0001 大阪市旭区太子橋 3-9-48 205 号室　URL：www.jp-tf.org

ご 挨 拶

平素より、特定非営利活動法人ジャパン・タスクフォースの活動にご理解・ご協力をいただき、こころより御礼申し上げます。

2014 年度も多くの皆様方からの温かいご支援・ご協力を受け賜り、ジャパン・タスクフォース職員一同、感謝申し上げます。

今年度は例年の活動に加え、前年度末より開始しましたFFSⅡ講習の定期開催、防災イベント・セミナー開催などに向けて、邁進していく所存です。今後ともジャパン・タスクフォースを宜しくお願いいたします。

特定非営利活動法人
ジャパン・タスクフォース 職員・スタッフ一同

代表理事 大崎勝三 退任のご挨拶

この度、設立当時より代表理事を歴任してまいりました大崎勝三が 2015 年３月 31 日をもちまして、勇退させて頂く運びとなりました。

「年長者として、また代表理事として日本の防災力・消防力向上の一助となればと活動してまいりましたが年齢と体力面から代表職への限界を感じるようになりました。今後は陰ながら、皆様の安全活動とご活躍を願っております。これまでの皆様からのご協力・ご支援に心より感謝いたしますと共に、今後もジャパン・タスクフォースへの変わらぬご理解とご協力を、よろしくお願いします。」

2015 年度 JTF 理事長・インストラクター紹介

▽新理事長　宮 島 志 織 -MIYAJIMA SHIORI-

今年度から、理事長を務めることとなりました宮島でございます。日本の防災・消防の皆様のお力となれるよう、尽くして理事長の職を全うさせて頂く所存でございます。今後ともよろしくお願い致します。

▽理事・事務局
専属インストラクター
柳 田 健 一 郎
-YANAGIDA KENICHIRO-

●担当講習
- ファイヤーファイターサバイバルⅠ・Ⅱ
- ラダーレスキューシステム
- トレーニングコース講習
- RS 検証会スペシャルアドバイザー
- USAR レスキューシステム

▽理事
マスターインストラクター
佐 藤 孝 洋
-SATO TAKAHIRO-

●担当講習
- ラダーレスキューシステム
- トレーニングコース講習
- RS 検証会スペシャルアドバイザー
- USAR レスキューシステム

▽アシスタント インストラクター
永杉 博之
-NAGASUGI HIROYUKI-
各講習アシスタント

▽アシスタント インストラクター
石坂 浩治
-ISHIZAKA KOJI-
各講習アシスタント

▽アシスタント インストラクター
早川 好美
-HAYAKAWA YOSHIMI-
各講習アシスタント

▽アシスタント インストラクター
西條 善人
-SAIJYO YOSHIHITO-
各講習アシスタント

▽本部・事務局スタッフ
浅田 紀子
-ASADA NORIKO-

これまでの活動

災害対応技術提供活動　消防学校及び消防本部、その他講師派遣

▼ これまでの講師派遣実績

和歌山県消防学校（救助科）
新潟県消防学校（警防科/救助科）
神奈川県消防学校（特別救助隊員研修）
山口県消防学校（救助科）
新潟県消防学校（救助科/警防科）
和歌山県内１消防局（救助技術研修）
富山県内消防本部（救助技術研修）
大阪府内３消防本部（救助技術研修）
福井県内２消防本部（救助技術研修）
岐阜県消防長会
台湾台北市消防局　※台湾より依頼
台湾内政部消防（Taiwan　ＵＳＡＲ　Team　研修）　※台湾より依頼

▼ 2014 年度

和歌山県消防学校
神奈川県消防学校
岐阜県内消防本部

一般企業・公共施設への防災知識・技術提供

大阪府内 有料老人ホーム	「緊急時対応マニュアル」作成マネジメント
大阪府下 私立幼稚園	

他団体との活動災害支援活動

認定 NPO 法人 日本レスキュー協会連携事業

2014年10月	みやぎ地域復興支援
2014 年３月	東日本大震災「追悼式」への参加、防災啓蒙啓発実技訓練（講師派遣）
2014 年５月	災害救助犬啓蒙啓発活動：みんな大好きペット博（京セラドーム開催）における「災害救助犬展示訓練・デモンストレーション」への参加
2015 年４月	ネパール大地震救助犬派遣に伴う現地検索活動における支援・安全管理
2015 年５月	災害救助犬啓蒙啓発活動：みんな大好きペット博（京セラドーム開催）における「災害救助犬展示訓練・デモンストレーション」への参加

2010 年７月	岐阜県可児市豪雨災害	・活動延べ日数：５日間 ・活動内容：捜索活動
2011 年３月	東日本大震災 岩手県大船渡市	・活動延べ日数：６日間 ・活動内容：捜索活動、復旧活動、支援物資運搬
2011 年９月	和歌山県台風 12 号 豪雨災害	・活動延べ日数：３日間 ・活動内容：捜索活動、復旧作業

2014 年度　活動の報告

2014 年８月	広島県大規模土砂 災害	・活動延べ日数：２日間 ・活動延べ人員：８名 ・活動内容：捜索活動、救助犬活動の安全管理
2015 年４月	ネパール大地震	・活動延べ日数：５日間 ・活動延べ人員：１０名 ・活動内容：捜索活動、救助犬活動の安全管理、 海外救助隊との連携活動における マネジメント

新 訓練施設の開設！！

スタートの１年

皆様のご協力のもとで、今年度も無事にスタートしたジャパン・タスクフォース。

昨年度は、私達にとっても大きな達成感と新たな責任を感じた１年でした。

予てより、「受講者の皆様が安全に且つ天候に左右されることなく、訓練ができる施設をつくりたい！！」という強い思いがあり、会員の皆様からお預かりさせて頂いた会費をはじめ、多くの方々からのご支援を受けて、2014 年９月に大阪府貝塚市にジャパン・タスクフォースの訓練施設を開設しました。

施設利用の開始まで１か月余りしかない中、全国各地より消防士の方々が休日を返上して改装・修繕工事に来て下さり、連日朝から晩遅くまで急ピッチで作業が行われました。まだまだ未完成ですが、現在は整備された環境の中、講習を開催できるようになりました。この場をお借りして、作業を手伝ってくださった方々、ならびにご協力を賜りましたすべての方へ心より感謝を申し上げます。

災害支援　広島、そしてネパールへ！！

昨年度、ジャパン・タスクフォースは、広島県豪雨災害に対し支援活動を行いました。災害支援活動に参加・協力してくださった正会員の方から活動について投稿して頂きました。

2014年８月 広島県土砂災害での活動を終えて…

（投稿者：関西圏内消防本部所属　ジャパン・タスクフォース正会員）

2014年８月20日未明に広島県北部の安佐北区・安佐南区等の住宅を襲った大規模な土砂災害に、現役消防職員としてではなく、ＮＰＯ法人ジャパンタスクフォースのスタッフ（民間団体の一員）として初めて災害現場での活動を行いました。活動内容は、主に捜索活動の補助を行い、現地の災害状況の情報収集・集約、救助活動を実施している消防、警察、自衛隊等の他機関との調整及び災害救助犬やハンドラーの安全管理などに努めました。災害救助犬の現場投入は、認定ＮＰＯ法人日本レスキュー協会と協力して行いました。

私達は、８月22日の早朝から捜索活動を実施しました。現場到着時には既に公的機関や救助犬団体がそれぞれに指揮本部を設置されていました。協議の結果、私達は八木地区で活動することになりました。この地区では消防、警察、自衛隊が活動しており、協議の結果、災害救助犬によるサーチを実施して生存者などの発見可能性の高い場所を絞り込み、瓦礫・土砂などを取り除きながら消防、警察、自衛隊が救出活動を行うことになりました。救助犬によるサーチは、瓦礫・土砂を取り除き、定期的に実施しました。捜索時の安全管理としては、救助活動隊員が避難するための時間を考慮し、救助活動場所より山頂側に安全管監視員を配置しました。

活動開始は、災害発生から約48時間が経過した後であり、まだまだ生存者救出の可能性が高い時間帯でしたが、残念ながら生存者の発見には至りませんでした。成果としては、１名のご遺体をご家族の元に返す事ができたという結果でした。

今回の活動で感じた点は、１点目にサイズアップの重要性です。今回の土砂災害現場は、地震災害とは異なり局所的な災害で、被災前にはどこにどの様な建物があり何名の方が住んでいたのか、土石流によりどこに流されたのかなど、情報収集及び活動危険の把握がポイントになりました。現場到着時はまだ情報が錯綜していたため、情報を精査するのに苦労しました。２点目にサーチの重要性です。今回は土砂災害であり、被災前の建物等の配置状況が全くわからず、生存可能性の高い場所の特定が困難な状況でした。当然、人的サーチのみでは声を出して助けを呼べない、意識が無い要救助者の発見には限界があり、改めて災害救助犬の重要性が認識された災害であったと思います。災害救助犬の認知度は少しずつ高まりつつありますが、今後、消防も救助犬と連携した効率的な捜索方法の確立が重要です。さらに、災害救助犬だけなく、人的サーチ、高度救助資器材等によるサーチを含め、災害初期、中期、後期等、災害の段階に合わせた効率的な捜索方法の標準化が課題であると感じました。

最後に、今回の活動は公的機関の立場ではなく、民間の立場で捜索活動をできたことにより、災害時の救助活動の全体をこれまでと違った目線で見ることができました。その中で、これまでの阪神淡路大震災、福知山線脱線事故、東日本大震災などの教訓が活かされている点や新たな課題を客観的に把握することができました。また、ジャパン・タスクフォースで実施している様々な講習で得た知識・技術の点と点が繋がり、線になった部分が多々ありました。今回得た教訓や課題を活かし、今後起こりうる災害において、少しでも良い対処ができるように精進したいと思います。

2015年４月 ネパール大地震における支援活動

２０１５年４月25日に発生したネパール大地震に伴い、ジャパン・タスクフォースは、災害救助犬団体である『認定NPO法人 日本レスキュー協会』からの出動依頼を受けて、ネパール入りしました。職員の出動に際し、安全管理や現地への負担等に関する様々なご意見を頂きましたが、実際に現地に赴き、活動することで多くの気づきを得られ、今後の災害時の支援体制のあり方を考える良いきっかけになりました。簡単ではございますが、ネパール大地震における災害支援活動について報告させて頂きます。

■活動の経過

４月25日 ネパール大地震（M7.8）発生
発災直後に『認定NPO法人 日本レスキュー協会』より協力依頼を受ける
ジャパン・タスクフォースより、職員２名の派遣を決定
ジャパン・タスクフォース事務局にて、現地の情報収集を行う
26日 ネパール大使館より、緊急渡航ビザの発行
12:30 関西国際空港 出発
28日 経由地 タイ バンコク空港 到着
14:00 ネパール カトマンズ国際空港 到着
国連 現地対策調整本部にてUSAR活動会議に参加
29日（活動１日目）行方不明者の捜索活動（カトマンズ市内：セクターK）
30日（活動２日目）行方不明者の捜索活動（カトマンズ市内：セクターK）
捜索活動の終了
５月１日 救助犬の検疫などを終えて、ネパール出国
２日 8:00 関西国際空港 到着

救助犬との連携、そして消防の役割とは…

ジャパン・タスクフォースは、日本レスキュー協会のハンドラー２名・救助犬２匹、現地コーディネーター（通訳）１名と共に、カトマンズ市内（セクターK）で２日間、行方不明者の捜索活動を行いました。私達は、これまでの海外研修などで得た災害対応のノウハウを活かし、現地での救助犬を使った捜索活動が安全・効果的に行えるためのサポートを行いました。

被災地では、現地の警察・軍、そして海外の救助隊とも協力し、各隊・各員が国を越え、一つの目的のためお互いを信頼し、自分達ができる最大限の努力を惜しむ事無く活動しました。残念ながら生存者の発見には至りませんでしたが、計５名のご遺体を発見、ご家族の元にお返しする事ができました。

私達は、２日間という短い期間の活動で帰国することになりましたが、現地では頻繁に余震が発生しており、そのような中で引き続き行方不明者の捜索行われていることを思うと、後ろ髪を引かれる思いでした。

民間の立場として、安全の保障の無い環境のなか、効果的な捜索活動を行うためには、救助犬の健康状態や疲労状況を十分に考慮した上で活動期間を設定する必要がありまし

た。そのため、担当ハンドラーとも十分に協議した結果、現地活動期間を２日間（予備日１日間）とし、自己完結活動に必要なあらゆる装備を準備した上で出動しました。

帰国の途につき改めて強く思うことは、災害における救助犬の必要性を広め、限られた時間の中、現場での救助犬と救助チームとの連携・協力体制の構築し、迅速な捜索・救助活動が行えるような取り組みをしていくことが今後の課題になるのではないでしょうか。「一人でも多くの命を救う」ために、今後はこれまでの活動から得た経験を会員の皆様にもお伝えできるように、災害支援活動の報告会や防災イベント・セミナー等の開催、新規講習の開設・運営に尽力したいと思います。

これからネパールはモンスーンの季節（雨季）が到来します。いまだ家屋の復旧も生活物資も十分に行き届いていない中、現地の人々は懸命に生活をされています。今後も、復旧・復興に向けて時間を要するネパールですが、一日でも早い復興を心よりお祈りいたします。

最後に、ネパールでの活動中、会員の皆様には心温かいご声援やご心配をして頂き、大変感謝しております。不慣れな土地での活動でしたが、皆様のご声援に励まされ、そして勇気づけられました。この場をお借りしましてお礼を申し上げます。

海外技術研修 2014　Rescue Systems Ⅲ

ジャパン・タスクフォース海外技術研修では、2014 年 12 月に米国カリフォルニア州メンローパークにある US&R Task Force 3 トレーニングセンターにおいて『Rescue Systems Ⅲ（略称 RSⅢ）』研修を計６名（理事２名、会員３名、他１名）が受講しました。

このRSⅢ研修プログラムは、2012 年からカリフォルニア州ファイヤーマーシャルの US&R 隊員への正規トレーニングカリキュラムとして導入されたばかりで、米国人以外への研修は今回が初となります。また最新の FEMA（米国連邦危機管理庁）が定める「Structural Collapse Rescue (SCR)」のガイドラインでは、RSⅠ,Ⅱ,Ⅲの３つの研修を合わせて SCR テクニシャンレベルとなっています。

研修内容は、SCR の根幹たる技術である「ショアリング」、「ヘビーウェイト・リフト＆ムーブ」、「ブリーチング＆ブレーキング」のアドバンス講習と総合想定訓練を含む５日間の内容となっており、これまでの RSⅠ・Ⅱ研修内容を基本として成り立っています。

研修内容をご紹介します

従来の角材とショア資器材である『PARATECH 社』のショアリングシステムを併用し、迅速にショアリングの設定を行います。基本的なショアリング構造を理解することで、資器材の有効性が理解でき、効率的なショアリングを行うことができます。

建物の上部よりロープで下へアクセスし、ロープで吊り下げられた状態で建物側面に開口部を設定するブリーチング（GALLOWS）です。破壊器具の重量を考慮した操作が求められるため、地上での操作に比べて非常にバランス感覚なども要求される技術でした。

２種類のトーチ（アセチレンガスとガソリン）を使用した金属溶断です。展張されたワイヤーの溶断には、慎重なトーチの操作が要求されます。

ＲＳⅢ研修では、60ｔクレーンを使用し、様々な重量物を建物倒壊現場から除去しました。隊員が、重心点を測りながら重量物の形状に合わせ、安定した状態になるようにベルトやワイヤーを取り付け、クレーンオペレーターに指示しながら除去します。

総合想定訓練では、これまでの RS 研修で学んだことを駆使し、ボイドスペース内にいる要救助者を救助する総合想定などを実施しました。

今回、RSⅢ研修を受講し再認識したことは、優れた資機材やテクニックは常に基礎知識と基本技術の上に成り立っていることです。だからこそ、改めて RSⅠとⅡの研修内容の重要性が理解できました。今後も RSⅢの内容や SCR は発展・進化し続けると思います。

ジャパン・タスクフォースとしましては、基礎・基本を疎かにせず、US&R の本質を追求して行きたいと考えます。

2015 年度　JTF 講習/訓練会のご案内

現在、ジャパン・タスクフォース（以下、ＪＴＦ）では、以下の講習を開講しております。
開催日程・詳細などは随時、ＪＴＦホームページに掲載いたします。

講習名	開催時期	開催場所	出張講習※	定員※
ファイヤーファイターサバイバル レベルⅠ	夏季除く	伊丹/名越	△	12 名
アウェアネスレベル	年中	伊丹/名越	○	３５名
オペレーションレベル	夏季除く	伊丹/名越	△	12 名
ファイヤーファイターサバイバル レベルⅡ	夏季除く	名越	×	１０名
ラダーレスキューシステム講習 プレコース	年中	伊丹/名越	○	5～10 名
ラダーレスキューシステム講習 本コース	年中	伊丹/名越	△	８名
ラダーレスキューシステム講習 トレーニングコース	年２回	伊丹/名越	×	なし
レスキューシステム（RS）検証会	年 2～3回	兵庫県三木市	×	１８名程度

※ 出張講習について…　○：出張での講習が可能です。　△：実技講習可能な場所が必要です。
×：出張での開催は実技内容上・安全面を考慮の為、お受けできません。
※ 定員について…　定員は目安です。なお参加者が開催定員の半数に満たない場合は、講習を開講できない場合がございます。予めご了承ください。

お申し込み方法

1．JTF ホームページにアクセス　*http://jp-tf.org/*
2．ホームページ左の各講習のバナーから受けたい講習を選び、クリック
3．参加申し込み専用「個人情報入力フォーム」に必須事項入力する
4．送信ボタンをクリックする

※　参加確定者には、JTF 事務局より「参加確認メール」をお送りします。また、定員によりご希望の講習日に参加頂けない場合も、メールにてお知らせします（メール送信までには、数日かかります）。
※　電話での講習参加の予約及びお申込の受付は行っておりません。ご了承ください。
※　個人情報入力フォームに使用されるメールアドレス及び登録用メールアドレスは、携帯アドレスでは申し込みができません。　また、G メール、Yahoo メールは予め、「　jtf@jp-tf.org　」からのメールが届くようにセキュリティ・ドメイン設定を変更ご確認ください。

公益財団法人 JR 西日本あんしん社会財団より
『ラダーレスキューシステム講習（梯子を使用した救助方法）』
2015 年度活動助成をいただきました！！

2013 年度から、３年連続で公益財団法人ＪＲ西日本あんしん社会財団の活動助成事業として、『ラダーレスキューシステム講習（梯子を使用した救助方法）が』採択されました！！３年連続で採択されることは極めて珍しく、ジャパン・タスクフォースとしても、まことに喜ばしい限りでございます。そして、2015 年４月に大阪市内で行われた、平成 27 年度公募贈呈式には、ジャパン・タスクフォースを代表して、理事１名、活動会員１名の計２名で出席させて頂きました。贈呈式は終始和やかな雰囲気で行われ、その後、懇親会も開かれました。会場には、パートナーシップを結ぶ日本レスキュー協会の方のお姿も！！他に多種多様な活動を行う団体の皆様ともお話させて頂き横の連携も大切にできればと思います。

ジャパン・タスクフォースの活動への
ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いします！！

当団体の活動には、多くの皆様方のご支援が必要です。私達の活動は、近年、大規模化・多様化している災害に立ち向かうために、一人でも多くの方々に救助の知識・技術を伝え、災害時に活用していただくことで、「一人でも多くの命を助け、守る」ことです。多様化する災害に立ち向かうためにも、これまでの知識や技術に加え、新たな考え、知識・技術が必要になります。そのためにも、皆様の知恵を集結し、それを具現化する場所が必要です。

今後もこのような活動を継続して行えますよう、皆様の温かいご理解・ご支援を心よりお願い申し上げます。

お問い合わせ先（時間：平日 9:00～18:00）
特定非営利活動法人 ジャパン・タスクフォース
〒535-0001 大阪府大阪市旭区太子橋３丁目 9-48 アーバンエース 205 号

電　話：06-6958-4647
事務局携帯：080-7013-8922
ＦＡＸ：０６-６９５８-４７０８

- 本 誌 作 成 協 賛 企 業 -

我々は、食を通じ、一番身近で手軽な
レジャーの場を社会に提供する。

全てはお客様の感動と幸せの為に
全ては従業員の心と物の豊かさの為に

IDEA CO., LTD.
ENJOY OUR HOSPITALITY

我々は人々に、くつろぎ、安らぎ、
明日への活力を与えることによって
社会に大きく貢献し皆しっかり儲ける

我々はイデアでしか食べられない
世界一の専門料理を提供する。

http://www.torikagura.com/
地鶏鍋地鶏と旬の旨さを追求した贅沢な一品を

http://www.kuruma-jp.com/
三種の炭を使い分けて焼き上げる宮崎地鶏の旨さを

http://www.midou-jp.com/
食はもっとも身近なレジャー
お寿で楽しむ本格鉄板料理を

http://www.midou-jp.com/kanro/
新鮮な食材が揃った和みの空間
ネクタイを緩めて気軽に鉄板焼きを

株式会社イデア
本部：大阪府吹田市豊津町 13-44　ユカミ江坂ビル 402 号　TEL：06-6389-9711　FAX：06-6389-9751
http://www.idea-co.jp/　email:office@idea-co.jp

Special Rescue Service Japan

スペシャル レスキュー サービス ジャパン 株式会社

業務内容　救助講習・各種防災セミナー講師
アメリカ救助研修

〒501-3904　岐阜県関市明生町 2-3-13-102
E メール：info@srs-j.co.jp

Right Rescue
ーライト・レスキューー

レスキュー42 他、取扱商品につきましては、ホームページをご覧ください。

〒535-0001
大阪府大阪市旭区太子橋 3-9-48
アーバンエース 205 号
電話番号：06-6958-4708（FAX 同じ）
携帯電話：090-3654-2122
E メール：info@r-resucue.com
ホームページ URL：www.r-rescue.com

RR JAPAN RIGHT RESCUE High Quality Equipment

★カタログ、パンフレットから多種多様の印刷まで
〒 532-0011
大阪府大阪市淀川区西中島 6-3-14
DNX 新大阪ビル 7F
電話番号 (06)6306-2715（代）
CORONA コロナ印刷株式会社